

配向分布関数計算における相対強度の影響

2016年03月14日

HelperTex Office

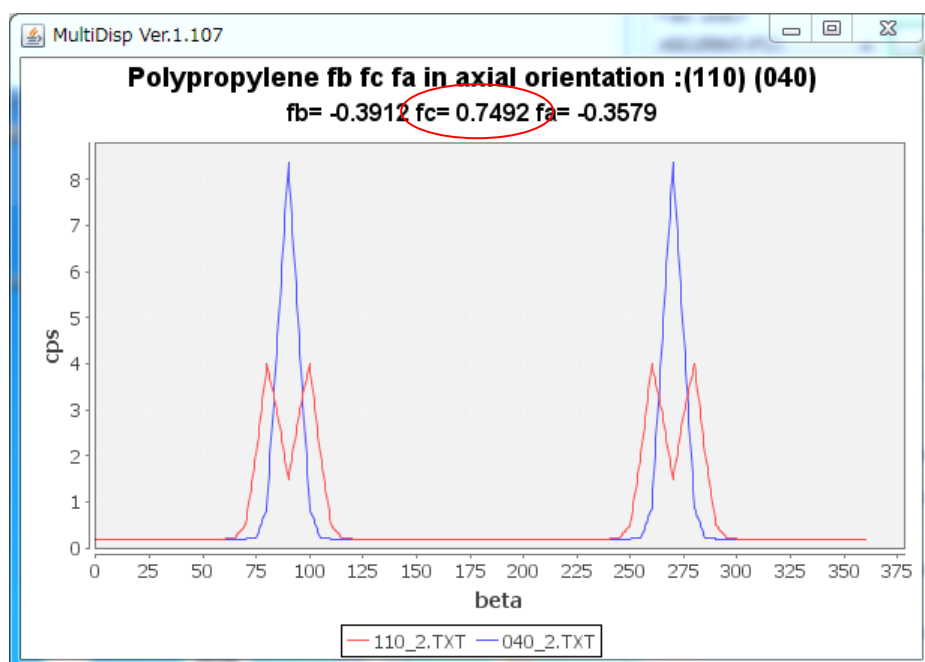
概要

今まで、P o l y p r o p y l e n e の評価に使っていたデータは、ODF解析から計算した完全極点図で、極点図毎に規格化された極点図であったが、実際に繊維試料台や2DPで測定されるβプロファイルでは、規格化されていないデータを用いている。

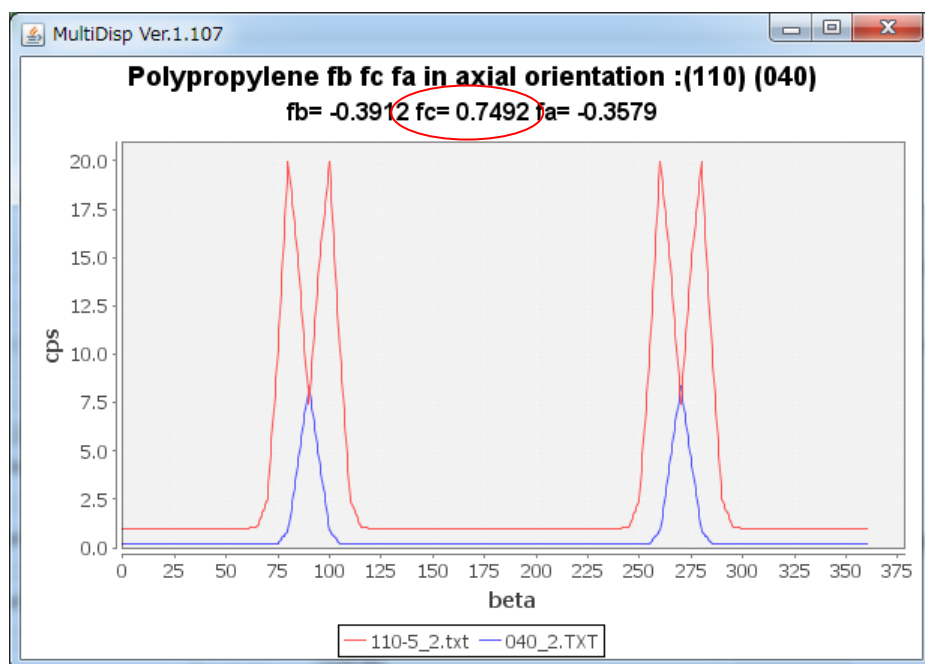
このようなケースでも、正しい値が計算されるか評価を行ってみます。

P o l y p r o p y l e n e の場合、{110}、{040} の極点図外周データを用いる。規格化された極点図データと {110} のみ、5倍されたデータで比較を行ってみます。

規格化されたデータ



{110} だけ5倍したデータ



まったく同じ値が得られます。